

昨年度ご協力いただいた成果

2024 年度県教育予算の概要

ご協力ありがとうございました。

昨年度、県民の皆さんに多くの要求署名（知事宛 31,754 枚、132,715 筆）にご協力いただきました。厳しい県財政の中でしたが、多くの成果をあげることができました。主な内容は、以下の通りです。

◎義務標準法の改正で小学校の学級編制基準が引き下げられる

- ・これまでの小学校第1学年での35人学級編制に加え、義務教育標準法の改正で、5年間をかけて小学校全学年の学級編制の標準を35人に引き下げて、基礎定数として措置。
- ・県独自の中1での35人学級選択制は継続。

◎県費負担教職員（県単独）小・中学校に127人確保

- ・児童生徒支援員（生徒指導・いじめ対応教員）：26人 ・特別支援教育対応教員：30人
- ・養護教諭（一定規模分校、複数配置）：1人
- ・休暇等補助教職員（看護休暇・療養休暇の代替教員）養護教諭・小学校教諭：70人
- ・小学校専科非常勤講師：3億4,493万円（90校）
- ・技能教科専科指導員：1億1,013万円（70校）

◎特別支援教育の充実

- 特別支援アドバイザー配置事業：8,521万円（21人配置）
- 特別支援学校整備事業：6億7,870万円

◎生徒指導・教育相談の充実、いじめ対策・不登校児童生徒支援の推進、 学校との連携機能強化

- スクールカウンセラーの配置等：9億6,337万円
 - ・小510人 中310人、高121人、特5人、事務所等11人（合計+144人）
- スクールソーシャルワーカーの配置等：1億5,736万円
 - ・小中18人、高21人 事務所25人（合計+10人）
- 中学生・高校生を対象としたSNSを活用した相談事業：2,400万円
- 子どもと親のサポートセンター等における相談事業：8,290万円
- 生徒指導アドバイザーの配置：6,673万円（8人）

◎教員の多忙化対策の推進

- スクール・サポート・スタッフの配置：11億9,970万円
 - ・小中学校：949校、特別支援学校：33校
- 教員不足解消に向けた緊急対策：3,000万円
- 教員不足解消に向けた奨学金返還緊急支援事業：3,670万円（170人）
- 業務改善DXアドバイザー配置事業：1,400万円（3人）
- 非常勤講師の配置：1億562万円
- 部活動指導員配置に対する助成：3,900万円（市町村に65人）
- 副校長・教頭マネジメント支援員の配置：1億3,130万円

◎その他

- 公立高等学校就学支援金：80億9,695万円
- 公立高等学校等奨学のための給付金：8億5,544万円